



平成 29 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 ザインエレクトロニクス株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 高田 康裕
(JASDAQ・コード番号：6769)
問 い 合 わ せ 先 取締役総務部長 山本 武男
電 話 番 号 0 3 - 5 2 1 7 - 6 6 6 0

China Video Industry Association への加盟のお知らせ

当社は、高速インターフェースや画像処理の分野で世界をリードするミックスドシグナル LSI 企業ですが、中国国家第一級レベルの家電分野業界団体である China Video Industry Association [CVIA] (注 1)に当社 100%孫会社である前海賽恩電子(深圳)有限公司が加盟しましたのでお知らせします。

CVIA は、これまでに中国国内の業界標準作成、市場規制、政策作成等で顕著な成果を上げています。当社は今後 CVIA の会員として、8K テレビなどの映像音響設備、映像監視システムやスマートホームなどの中国業界標準作成の活動に参画していきます。

1988 年設立の CVIA は、その前身が 1979 年設立の National TV Industry Association and Related Dedicated Parts Association (注 2)であり、中華人民共和国の民生部より承認された企業法人格を有する業界団体です。CVIA の会員企業は、過去 5 年間で 70 部以上の企業基準の策定、及び 10 部の国家基準の策定に参加しています。

CVIA からの統計情報と市場予測によれば、中国国内の 2017 年末スマートテレビ(注 3)ユーザー数は 2 億人に達し、スマートテレビと OTT ボックス(注 4)を合計したインターネットテレビ保有台数は 2.6 億台を超える、としています。同市場の今後 2020 年までの年間平均成長率予測は 15%程度を見込んでおり、民生映像市場の継続的な需要を期待できます。更に、中国国内の映像コンテンツに関する予測は、2018 年の主要なイベントは 4K 映像で録画放送、2022 年の北京オリンピック冬季競技大会は 8K で放送され、大画面 8K テレビは急速な発展を遂げる、としています。

当社は、世界中の大半の 4K テレビ機器内部インターフェースでデファクト・スタンダード(事実上の世界標準)として用いられている当社の高速伝送技術 V-by-One® HS の 4K・8K 映像向け次世代高速インターフェース技術として、V-by-One® US 技術仕様を策定しました。V-by-One® US 技術仕様は、1 レーン当たり最高 16Gbps (1 秒当たり 160 億ビット) の高速伝送速度を規定しており、V-by-One® HS に比べて 4 倍の高速伝送が可能となります。更に、画像センサカメラ向けインターフェース技術として V-by-One® HS をベースとした VBOC™ を策定しました。VBOC™ は、画像センサカメラからフレームグラバに撮影した画像を伝送する既存インターフェース技術方式の一つと比較して、ケーブル・コネクタ・制御通信プロトコルの互換性を確保したまま伝送実効帯域を 10 倍以上に広げるインターフェース技術です。当社は今後、これらの新高速インターフェース技術策定企業の立場で、CVIA の中国業界標準作成の活動に参画していきます。

CVIA への加盟完了に当たり、当社代表取締役社長および前海賽恩電子(深圳)有限公司董事長である高田康裕は次のように述べています。「Display Innovation China 2017 における技術講演を経て、今般、CVIA への加盟が承認されたことを大変喜ばしく思います。当社は、高速インターフェース技術のリーディング企業として、昨今 2 つの新高速インターフェース技術を策定しました。CVIA の活動では、V-by-One® US を始めとする高速インターフェース技術を通して、中国及び世界の映像市場のイノベーションに貢献していく方針です。」

※ 「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

※ 「VBOC」はザインエレクトロニクス株式会社の商標です。

- (注 1) 中国語での正式名称は”中国电子视像行业协会”。
- (注 2) 中国語での正式名称は”全国电视机行业协会及相关专用部件协会”。
- (注 3) テレビ番組や DVD コンテンツなどの映像を視聴する従来のテレビ機能に加え、インターネットを通じて機能拡張が可能になるテレビ。機能拡張とは、「インターネット接続機能」「アプリケーション・コンテンツの提供機能」「端末間連携機能」が挙げられる。ユーザーは、テレビを通してインターネット上のコンテンツ閲覧、アプリの利用、モバイル端末とテレビの間でコンテンツを連携できる。
- (注 4) OTT は Over The Top の略語であり、従来の通信インフラに頼らず、インターネットを通じた動画・音声などのコンテンツ・サービスを提供する事業者、もしくはそれらコンテンツ・サービスそのものを指す。OTT ボックスは、OTT サービスを利用するためのシステムがボックスに収められた機器を指す。従来のテレビに OTT ボックスを接続することで OTT を利用可能になる。

ご注意:本文中における各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。

<報道機関各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 取締役総務部長 山本 武男
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 9-1 MD 神田ビル 4F
TEL 03-5217-6660 FAX 03-5217-6668
URL: <http://www.thine.co.jp> E-mail: ir@thine.co.jp

<お客様各位からのお問い合わせ先>

ザインエレクトロニクス株式会社 営業部 ([お問合せフォーム](#))